## 1学区の概況と課題

# さいたま命防災カルテ

### 植竹中学校区

# KITA

#### ◆学区の概要

【位置】北区の中央部南寄りに位置しており、大宮区と隣接している。

【土地利用】学区内には住宅地が広がっており、中央部西寄りに区役所、 東部に団地と多目的グラウンドがある。

【交通】学区北西部には新幹線、南東部 にはJR東北本線が走っている。

#### ◆学区の位置



#### ◆学区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震		関東平野北西縁断層帯地震		東京湾北部地震	
最大震度 6強 (6.1)		6強	(6.1)	5強	(5.4)	
最小震度	6弱	(5.8)	6弱	(5.8)	5強	(5.1)
死者	12人	(O.O%)	12人	(O.O%)	0人	(O.O%)
負傷者	110人	(0.3%)	108人	(0.3%)	5人	(O.O%)
避難者	1,144人	(3.3%)	1,137人	(3.3%)	16人	(O.O%)
全壤建物棟数	234 棟	(3.3%)	232 棟	(3.3%)	〇棟	(O.O%)
うち焼失棟数	46 棟	(O.7%)	54 棟	(0.8%)	〇棟	(O.O%)
半壊建物棟数	823 棟	(11.7%)	804 棟	(11.4%)	34 棟	(0.5%)
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	〇棟	〇棟	〇棟	5 棟	〇棟	〇棟
床下浸水建物棟数	〇棟	〇棟	〇棟	381 棟	〇棟	〇棟

※震度のカッコ内は計測震度を、それ以外のカッコ内は学区内の比率を示す。

#### ◆人口概況 (平成22年国勢調査)

		植竹中学校区	全市平均
人口等	総人口	34,809人	
	O-14歳	5,034人 (14%)	(14%)
	15-64歳	23,579人 (68%)	(67%)
	65歳以上	6,196人 (18%)	(19%)
	人口密度	10,840人/km <sup>*</sup>	5,766人/km²

18% 14%

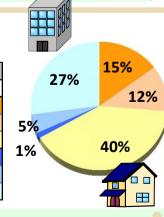
【地震】さいたま市直下、関東平野北西縁断層帯の震度が大きいが、どちらも全壊・半壊の合計は15%程度と、他地域と比べて相対的には危険度は低い。

【水害】他地域と比べ、相対的には浸水被害の危険性は低い。

## 人口割合は全市平均とほぼ等しい一方、人口密度はやや高い。

#### ◆建物概況 (平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

		植竹中学校区	全市平均
	総建物棟数	7,052棟	
	木造(昭和46年以前)	1,040棟(15%)	(17%)
建物	木造(昭和47-55年)	817棟 (12%)	(12%)
	木造(昭和56年以後)	2,851棟 (40%)	(45%)
	非木造(昭和46年以前)	95棟 (1%)	(1%)
	非木造(昭和47-55年)	335棟 (5%)	(3%)
	非木造(昭和56年以後)	1,914棟(27%)	(21%)



#### ◆防災関連施設情報 (平成26年2月時点)

種別	名称			
避難場所	植竹中学校、大砂土小学校、東大成小学校、植竹小学校、県立大宮ろう学園、大砂土公民館、植竹公民館			
一時•広域避難場所	本郷第6公園、土呂公園、東植竹公園			
市•区役所等窓口	北区役所			
消防署•出張所	植竹出張所			
警察署•交番	加茂宮交番、土呂駅前交番			
救急病院	社会保険大宮総合病院、医療法人ヘブロン会大宮中央総合病院			
応急給水場所	大砂土小学校、東大成小学校、高鼻浄水場、水道総合センター			

#### ◆被害想定結果からわかる主な防災上のポイント

【その他】地区の状況や被害想定から災害の危険性が高い地区とは言えないが、被害想定は一定の仮定の下で作成したものであるため、地域の防災意識を高く維持し、個人、地域が行政と協力して着実な防災対策を行っていく必要がある。

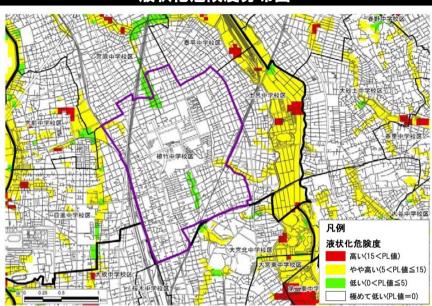
# ②さいたま市直下地震の想定 さいたま市防災カルテ

## 植竹中学校区

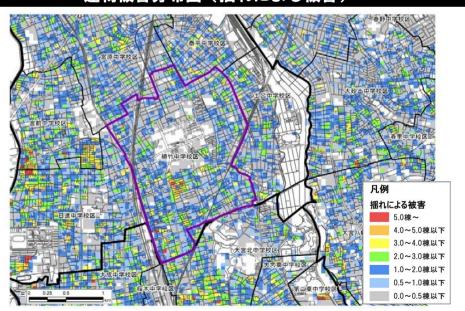
X



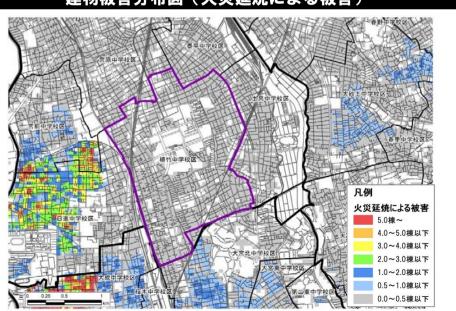
### 液状化危険度分布図



建物被害分布図(揺れによる被害)



建物被害分布図(火災延焼による被害)



02-02-2

## ③防災マップ

# さいた食品防災カルテ

## 植竹中学校区



